



～ 自他共栄～ NO.9

2024年10月17日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

2024年度 年末手当 第1回交渉～収入動向～

中央本部は10月17日に「2024年度年末手当第1回交渉」を行ないました。

収入動向

- ・上半期は8月まで積合せ貨物及び食料品や工業品を中心に、一部鉄道へのシフトする動きがあったものの9月の台風10号や羽越線の不通にくわえ、輪軸問題が発生しすべての輸送する品目で計画値を下回った(9月の対計画90.1%)
- ・自動車部品では日産が2024問題でトラックドライバーがいない事や、環境問題を意識して「JR貨物も含め輸送モードをいくつか持つ」という動きが出ている。2024年問題の動きが出てきており、問題について訴え、新規案件獲得にむけて動いている。
- ・事業開発部門は、対前年比で+10億を見込んでいる。賃貸マンション事業ではほぼ満床であり、東京レールゲートではすべての区画が埋まり、12月からは満床になる予定。事業開発部門として計画を上回るよう確実に進めていく。

組合の主張

- ・直近の収入動向では対前年比100%を上回っている。対計画も上回っている。会社は組合の要求応えるだけの体力がある。
- ・運ぶ荷物がある中、編成減車となっている。輪転資材や要員不足で輸送力が低下していることから、対策を早急にする必要がある。
- ・慢性的な要員不足の中、組合員は秋冬繁忙期や輪軸不正問題の信頼回復に向けて尽力している。今年末手当で誠意ある回答を求める。

会社は厳しい経営状況を前面に出し、手当を低くしようとしています！
職場での労苦を会社にぶつけ満額獲得にむけて全青年部員で闘おう！！